

# 防災協だより

【発行所】(社) 神奈川県高圧ガス防災協議会  
横浜市中区北仲通4-40 (商工中金横浜ビル3階) 電話045-212-1454  
【編集責任者】企画部会長 河原 俊治  
http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp

平成23年度発行の会員証の有効期限は平成24年6月30日です。  
平成24年度の会員証は会費の入金を確認のうえ、6月中にお手元に届くように発送いたします。

## 第39回通常総会開催される



社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会第39回通常総会は、5月17日(木)午後2時30分より西区みなとみらいのヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル・ボールルームで開催された。

定刻、河原副会長の司会によって年度末総会員数356、出席会員289(委任211)で2分の1以上の出席となり定款第25条の定足数に達している旨の報告がなされ、総会の開会が

宣せられた。

総会は、小谷会長のあいさつの後、議長に鳥飼副会長を選出、議事録署名人に上梅澤和昭理事、荒木秀徳氏(会員)を選任し議事に入った。

第1号議案 平成23年度事業報告及び収支決算の承認を求める件について、事務局による説明及び柄澤監事の監査結果が報告され、異議なく承認可決された。

第2号議案 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)報告の承認を求める件についても、事務局の説明の後議長が意見の有無について議場に諮ったところ意義なく原案どおり承認可決された。

第3号議案 理事の役員改選については、議長が定款14条及び12条による改選並びに選任について触れた後、理事会で推薦した理事候補者26名、監事候補者2名について氏名、事業所名を読み上げ選任し議場に諮り承認された。その後新理事、役員による理事会開催において小谷会長をはじめ新役員が選任された。

第4号議案 その他の提案事項もなく議事は終了した。

その後、小谷新会長の挨拶、感謝状、表彰状の贈呈、来賓挨拶の後、星野幹雄理事の閉会のことばをもって午後4時45分総会は閉会した。

小休止を挟み、会場を移して記念式典を開宴した。

### 創立40周年記念式典

#### 小谷 一雄会長挨拶



本日は、社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の創立40周年記念式典に、ご多用の中、関係官庁・関係団体・会員各位の皆様方に多数ご出席をいただき誠にありがとうございます。

式典には、神奈川県安全防災局工業保安課の加藤洋様、高圧ガス保安協会の作田順治会長様その他、多数の関係官庁の皆様並びに関係団体の皆様のご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、神奈川県高圧ガス防災協議会は、昭和47年(1972年)5月11日に設立総会を開催し発足いたしました。翌年の昭和48年には社団法人になり、今日まで、神奈川県内の高圧ガス輸送中の事故防止と拡大防止に努めてまいりました。

この間、会員にお願いしている防災事業所の方々には、路上での事故に伴うガス漏れ対応や火災現場における高圧ガスの爆発防止などに出勤していただくなどのご協力を頂き、高圧ガスによる災害拡大を防止できたものと感謝いたします。

また、神奈川県の高圧ガス防災担当課のご指導により、県内で高圧ガスの移動に携わる者の教育とレベルアップの訓練・講習を行うなど、当協議会はその活動の一旦を担うことにより、事故防止に対する知識と技能の向上に努めてきた結果、発足当初からする、移動途上の事故は、大幅に減少したものと思っております。

さらに、協議会の発足当初から県・警察・消防との連携を密にするために、地域毎に毎年防災事業所連絡会を開催し、事故等が発生し応援が必要な場合に、警察・消防機関より防災事業所にスムーズに連絡がされるように体制を整えてまいりました。

「備えあれば憂いなし」と申しますが、警察・消防の皆様方の

ご理解により、この連絡会も40年続き、幸いなことに神奈川県内では大事にいたる事故・災害は発生しておりません。

これらは、高圧ガスの事故・災害は絶対発生されてはならない、事故・災害は拡大させてはならないという会員事業所の強い意思とともに、会員のボランティア精神に支えられ進めてまいりました。今後ともこの気持ちを持ち続け、協議会活動にご協力ご支援をお願いいたします。

さて、40年史を見ていただけるとお分かりのように、防災協議会の会員数は、現在356事業所となっております。会員数が最大であった昭和62年には、565事業所の会員を擁しておりましたが、企業の合併・統合や景気低迷が続く中で事業所の廃止・廃業等により、昭和49年に開催した第一回通常総会時の会員数354事業所とほぼ同数の会員となっております。

このまま会員の減少が続くと、当協議会の活動にも支障をきたし、県内の防災活動が停滞することも懸念される次第です。

県内で高圧ガスの事業に携わっておられる事業所で、まだ当協議会をご存知でない方や加入されていない方には、是非加わって頂きたいと思っております。

40年史に会員名簿を掲載しておりますが、お近くで高圧ガスの事業に携わっておられる会社さんと、名簿にお名前がなかったら、是非加入いただけるように皆様方からお声をかけていただきたく願いたします。

昨年の通常総会で、当協議会は公益社団法人に移行することを決議いたしました。本来ならば、本日の通常総会で、公益法人への移行が完了する予定でしたが、準備や手続き等が遅れ、来年の通常総会まで伸びることになりました。会員の皆様には、大変ご心配とご迷惑をおかけしております。また、今後とも神奈川県の工業保安課のご支援を頂く場面があると思っておりますがよろしく願いたします。

最後になりましたが、本日ご出席の皆様方のご健勝とご多幸を祈念するとともに、当神奈川県高圧ガス防災協議会に引き続きご支援・ご指導をお願いして、挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。



創立  
40周年  
記念式典

## 来賓あいさつ

神奈川県安全防災局  
危機管理部工業保安課  
課長 加藤 洋



ただいまご紹介いただきました神奈川県安全防災局危機管理部工業保安課の課長を務めております加藤でございます。せん越ではございますが一言ご挨拶申し上げます。

本日は神奈川県高圧ガス防災協議会の通常総会にお招きいただきまして有難うございます。本日の総会がこのように盛会の中に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。また、この協議会は、創立40周年の節目を迎えられたとのことで、これも誠にめでたうございます。

小谷会長様をはじめ役員、会員の皆様方に於かれましては、日頃高圧ガスの移送途上の災害防止また、それに止まることなく幅広く高圧ガス保安にご尽力いただいております。会長様のお話にもございましたけれども首都圏の非常に難しい交通事情の中、雨の日も風の日も高圧ガスローリー、容器を安全に運ぶというのは、繊細で気の疲れるお仕事で正に社会の動脈の血液の役目を担ってこられたと思います。また、会員事業所の皆様も大きな事故も無く昨年の震災の折も緊急出動の実績も無かったと伺っており、本当にご努力に頭の下がる思いであります。

当防災協議会におかれましては、本県の防災行政全般に亘ってのご協力をいただいております。この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。また、今回竹内宗一様はじめ退任理事として感謝状の贈呈を受けられた皆様、永い間誠に有難うございました。更に本日優良運送員を受けられた皆様、又、創立40周年保安功労者表彰の皆様方、受賞心よりお慶び申し上げます。今後とも皆様方には事業所内あるいは業界において引き続き保安活動をリードしていただければと思っています。

さて、昨年は東日本大震災が発生いたしまして、会員事業所の皆様の中にも社内の他の事務所や関係会社等で大きな被害を受けられた方も有ると聞いております。今なお復興途上の方も沢山いらっしゃると思います。被害を受けられた関係

者の方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興を心からお祈りしたいと思います。県ではこの震災お経験を踏まえまして、この間災害対策の全面的な検証と見直しを行ってまいりました。事業所や市町村の皆さんからもご意見をいただきましてそれらを集約して、先月4月25日に地域防災計画と石油コンビナート等防災計画の修正を行ったところで、特に東日本大震災で津波被害を踏まえまして津波対策についてはこの二つの計画にも大幅な充実・強化を図りました。

今後の地震災害対策では行政のいわゆる、公やけの公助だけでなく県民や事業者の皆様の自助、あるいは地域団体等の共助の取り組みが求められております。そうした意味からも今回の大震災を経験とし災害時の高圧ガス移動時の安全確保をはじめ、ライフラインとしての高圧ガスの供給確保という意味でも、この防災協に期待される役割は非常に大きなものがあると思います。皆様のご支援ご協力をお願いしたいと思います。

高圧ガスの事故を減らす為には、日頃の点検管理の充実があることは申し上げるまでもございませんが、万一の場合には被害を最小限に抑えるよう迅速且つ適切な対応が求められます。その為にこれまで皆様に尽力いただいております高圧ガス地震防災緊急措置訓練や、防災事業所緊急出動ミニ訓練等は大変重要な意味ある取り組みと考えております。今年度も高圧ガス地震防災緊急措置訓練を横須賀で行います。また、高圧ガス火薬類保安大会も11月8日に行う予定です。引き続きご協力をお願いしたいと思います。

今年度、当防災協といたしましては高圧ガス災害の発生拡大の防止と、併せて公益法人への移行といった大きな事業がございます。個人的な話となりますが、私は昭和60年に県に入りまして最初の職場が今で言う工業保安課でございます。その頃から協議会の皆様の熱心な取り組みを真直に見て肌で感じております。是非スムーズに新公益法人の移行手続きが進められるよう、県としてもしっかりと応援させていただきたいと思っております。そして装いも新たになった協議会として引き続き安全で安心な地域づくりに皆で力を併せて取り組んでいただきたいと思います。

最後になりますが、防災協の皆様様の益々の発展と、会員の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

創立  
40周年  
記念式典

## 来賓あいさつ

神奈川県消防長会  
(川崎市消防局長)

会長 福井 昭久



ご紹介を賜りました神奈川県消防長会を仰せつかっております川崎消防局長の福井でございます。

本日は社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の第39回通常総会並びに創立40周年記念式典・祝賀会を、このように盛大に開催されましたことをまず以って心からお慶び申し上げます。また、平素から高圧ガスに係る防災活動等により表彰されました皆様方おめでとうございました、心からお祝い申し上げたいと思います。

更に協議会の皆様には平素から各種講習会の開催をはじめ、防災訓練や地域の防災体制整備等高圧ガスの保安確保に向け積極的に取り組み、県下消防本部といたしましてこの場をお借りして、改めて感謝を申し上げる次第でございます。

さて、ご案内のとおり昨年の東日本大震災から1年を経過し、現在国をあげて復旧・復興、減災対策が進められています。また、東海地震、東南海地震、南海地震の3連動地震、更に直下型地震等が取り沙汰されており、防災体制の早急な整備が急がれているところであります。本県におきましても去る4月には、新たに津波震災対策を取り込んだ石油コンビナート防災計画を修正する等、各種施策を積極的に促進しているところでございます。

こうした中、県民の皆様方の安全・安心への関心は非常に強いものがあり、我々消防に寄せられる期待も益々高まっているところでございまして、今後とも県下各消防本部が一体となって県民の皆様方の期待にしっかりと応え、安心と安全を確保してまいりたいと考えております。

また、高圧ガスに係る保安確保につきましても貴協議会の皆様方とより緊密な連携をとり、更なる強化を図っていただければならないと考えているところでございますので、どうか引き続きのご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協議会の益々のご発展とご出席の皆様方のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げます。甚だ簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

本日は誠にめでたうございます。



# 受賞者の皆さんおめでとうございます

第39回通常総会の議事終了に引き続き、平成23年度退任される理事に対する感謝と、優良運送員への更なるご活躍をお願いし、小谷会長より表彰状の授与が行われた。

退任理事の皆さん、在任中の事業運営へのご協力有難うございました。また、運送員の皆さん、これからも安全運転に心掛け無事故無災害を継続してください。



## 退任理事（感謝状）

竹内 宗一 高圧ガス工業(株)神奈川工場	中淵 正之 (株)エネックス
虫上 秀夫 (株)ガスネット	坂井 哲夫 JX 日鉱日石エネルギー(株)川崎製造所
杉澤 元達 JFE スチール(株)東日本製鉄所京浜地区	高橋 信行 東燃ゼネラル石油(株)川崎工場

## 優良運送員受賞者

森戸 辰雄 ロジトライ関東(株)南関東事業部横浜事業所	浅沼 好正 三ツ輪運輸(株)
東 秀作 ロジトライ関東(株)南関東事業部横浜事業所	古市 隆司 (株)エネックス関東LNG支店根岸営業所
小林 英明 ロジトライ関東(株)南関東事業部横浜事業所	露木 正勝 (株)エネックス関東LNG支店根岸営業所
室田 榮一 (株)エネックス関東支店川崎営業所	山口 秀美 アシオ運輸(株)
川崎 琢也 楠原輸送(株)	酒井 満夫 (株)古川
諸橋 真一 楠原輸送(株)	種本 正志 中央運輸(株)
藤野 浩 東海商事(株)	鈴木 孝俊 中央運輸(株)
伊藤 達裕 清徳運輸(株)	吉崎 貴司 (株)三春商会
中村 正志 清徳運輸(株)	須田 幸人 (株)三春商会
大沼 源吉 内田商事(株)	渡邊 和志 (株)共栄
梶原 恒生 扶桑運輸(株)磯子事業所	渡邊 高志 (株)共栄
安藤 光男 高砂産業(株)	城戸 和弘 (株)共栄
山中 正昭 丸一輸送興業(株)	関口 公次 光和輸送(株)
野田 守孝 弘容通商(株)神奈川営業所	足達 裕人 扶桑運輸(株)磯子事業所
小林 一美 横須賀オートガス(株)	形田 博 丸一輸送興業(株)
富山 隆弘 日産物流(株)	小林 明雄 丸一輸送興業(株)
田中 智元 セーフティーオイルトランスポート(株)	高木 英博 ロジトライ関東南関東事業部相模原事業所
鈴木 和秀 ロジトライ関東南関東事業部相模原事業所	山下 純徳 三ツ輪運輸(株)
今 修司 ロジトライ関東南関東事業部相模原事業所	平田 直樹 三ツ輪運輸(株)
大西 航 (株)ガスネット	川上 智 アシオ運輸(株)
黒柳 博之 (株)ガスネット	生島 裕二 アシオ運輸(株)
須山 弘義 フレンドリーサービスネット(株)	篠島 実 極東運輸(株)



# 平成24年度事業計画の概要

第39回通常総会において平成24年度事業として提案され、正式決定された事業の概要は以下のとおりです。

## 1 KHK受託事業

### (1) 高圧ガス移動監視者講習・検定

KHKが委託する高圧ガス移動監視者講習・検定事業の4開催のうち、後半の第3回、第4回について当協議会が担当する。

## 2 会事業

### (1) 高圧ガス運送基準指導講習の開催

7月中旬から11月末の約5ヶ月の期間中に、県内6地域において7回開催します。なお、昨年の開催会場は、耐震補強工事等の日程の影響で2会場が例年と異なる会場での開催でしたが、本年度は従来と同会場での開催となります。

また、本年度より運送基準指導講習は、7会場すべてが、午前の開催として統一しました。

### (2) 高圧ガス運送指導員資格取得更新講習の開催

例年と同様に5回開催とし、開催間隔も1ヶ月に1回程度と、受講会場の選択が容易となるよう配慮しましたので、更新講習等の受講漏れの無いようお願いいたします。

なお、講習日程、講習会場等は、ホームページ、機関紙「お知らせ欄」等をご確認ください。

### (3) 高圧ガス運送基準指導講習整備

講習の充実と保安法例示基準等の変更に対応するため、講習会事業の開催前及び事業終了後に2回/年以上の講習整備委員会を開催する。

また、テキスト、講義資料、講習時間割振り、講師選任についても対応する。

### (4) 地域防災体制整備

昨年の事業である、デバルバー防災事業所体制の維持向上を本年度も踏襲する。

特にデバルバー管理については、行政⇄防災協間で文書取り交わし、基準類の最終調整及び改訂の早期実施、防災事業所関連についてはアンケート調査結果の有効な活用に注力する。

### (5) 県・警察・消防・防災事業所連絡会議

各地域の関係行政と防災事業所との連携強化を図るため、情報の共有化・意見交換を実施するもので、本年度も下記要領で実施する。

☆川崎6月21日(木) ☆湘南6月29日(金)

☆横須賀7月03日(火) ☆横浜7月11日(水)

☆県西7月19日(木) ☆県央7月26日(木)

### (6) 防災(準)事業所緊急出動訓練

運送途上事故及び公共機関からの緊急出動要請に備えての訓練を、各地区輪番制のミニ訓練と自主訓練を実施する。なお、自主訓練については、訓練記録を必ず事務局に提出する。

#### ① ミニ防災訓練

実施期間：平成25年2月1日～2月28日

訓練実施事業所

- ・川崎地区 昭和電工(株)川崎事業所
- ・横浜地区 横浜ケミカル(株)
- ・横三地区 大洋石油ガス(株)

- ・県央地区 JA神奈川本部燃料センター
- ・県西地区 足柄プロパンガス協同組合
- ・湘南地区 地域合同(防災協、流保協)

#### ② 自主訓練

実施期間を特別に定めず年度内に実施し、その結果について実施後速やかに防災協事務局に提出するものとする。

### (7) 高圧ガス容器バラ積運送車点検指導

昨年と同様、平成24年10月1日から10月31日の間、各点検事業所、LP担当支部の協力により実施する。

### (8) 一般高圧ガスタンクローリー車点検指導

バラ積車と同様にローリー車についても本年度より点検指導事業を実施する。実施時期はバラ積車と同時期の10月に実施する。

### (9) 高圧ガス実態調査

本調査は3年に1度、神奈川県内において移動する高圧ガスの種類及び数量を把握するもので、本年度は実施年度に当たり、本年度事業として展開する。

〔実施日〕平成24年11月15日午前6時より翌日午前6時の24時間

### (10) 部会研修見学会

他県、他団体との交流を目的に、防災訓練の研修見学会を実施しているが、本年度も昨年同様の県外研修見学会を予定しており、他県の実施予定が決定次第、詳細について予定を確立し、関係者に案内したい。

### (11) 広報

機関紙の定期発行(3回/年)をはじめ、当協議会のホームページを活用した、公益法人申請進捗状況、講習会日程、会員への周知事項等のタイムリーな広報活動を展開。

### (12) 公益法人移行申請準備

当初予定の23年度末の申請は、申請書類の遅れから本年末(11月)以降に申請を実施する。今後の申請スケジュールは以下のとおり。

4月～6月中旬：各種申請項目の検討・検証

6月中旬～9月：具体的作業及び事前審査

10月中：申請

1月末～2月：答申(審査委員会→県知事)

3月末：認定(県知事→防災協)

4月：登記

### (13) 県及び関係保安団体協催行事への参加。

例年と同様に県工業保安強調月間の期間中に開催する行事に参加、協力する

#### ① 第40回神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置

訓練は横須賀・三浦地域で開催される。

訓練実施に際し、横須賀三浦地域の防災事業所には積極的な参加を期待したい。

開催日時：10月24日(水) 13時より

会場：横須賀市久里浜港

#### ② 神奈川県高圧ガス火薬類保安大会

開催日時：11月8日(木) 13時より

会場：神奈川県民ホール 小ホール



創立  
40周年  
記念式典

# 祝賀会 挙行される

創立40周年記念式典・祝賀会は、第39回通常総会終了後の午後2時から会場をパシフィックに移し、式典での会代表あいさつ（小谷会長）、保安功労者表彰式を行った後、祝賀会へと移行した。祝賀会では来賓を代表し、高圧ガス保安協会の作田会長にご挨拶をいただき懇親会の開宴とした。

## 式典あいさつ（要旨）

社団法人神奈川県  
高圧ガス防災協議会  
会長 小谷 一雄



会長を仰せつかっております小谷でございます。

第39回通常総会開催に際し、多数の会員のご出席をいただきまして有難うございます。また、ご来賓といたしまして、神奈川県安全防災局危機管理部 加藤工業保安課長様をはじめといたしまして、県警本部様、神奈川県消防長会様、高圧ガス保安団体長様のご列席を賜り、防災団体として通常総会が開催できたことは大変有り難く、尚かつ40年間のご協力に対してお心より感謝を申し上げます。

顧みますと、防災協議会設立直前の交通事情は劣悪で、道路拡張の余地はなく計画だらけの状況であり道路面も悪く、また、昭和40年代の急速なモータリゼーションは皆様もご存知のとおりで、状況で交通事故も多発し、考えようによっては何時大惨事が起きてもおかしくないのではと、囁かれておりました。そのような環境下での高圧ガス移動途上の事故発生を考えますと、車両については運輸省、ドライバーについては労働省、積荷については通産省等による移動計画書、監視移動監視者等の指導、更には警察関係による指定道路制まであり、移動に係る者の四重苦にもなったわけでございます。

このような中で各都道府県の政令によって昭和47年に高圧ガス防災協議会組織が出来、その後、神奈川県ご当局のご指導によ

って、高圧ガス協会、プロパンガス協会、流通保安協会、神奈川県トラック協会等の4者構成で新しい法人としてスタートした訳でございます。

それから40年、皆様のご協力とご理解の深さが現在までやってこられた大きな要因ともいえます。発足当初の理事会では、県警本部からも担当者のご出席いただき細やかなご指導を戴いたことが思い出されます。現在ご指導いただいております県工業保安課は当初、商工部でありましたが昭和52年に環境部に移られ、その後ご存知の安全防災局危機管理部になられたわけでございます。

高圧ガス取締法の時代には、何を取り締まられるのかとも思いつつも国・県民の為に需要に応じた高圧ガスを届ける立場から、努力をしてきたと思っております。一方、高圧ガス保安法になった頃には自由化の進行、合併等による会員数の減少が目立ち種々経済的な困難もございましたが、KHK移動監視者講習会を受託したりして難局を乗り越えたこともございましたが、なんと致しましても40年にも及ぶ歴史を継続できたことは防災協の大きな財産であると思っております。

昨年の東日本大震災以降、想定外の問題について議論されておりますが、防災協としては、新しい仕事の受け入れ時における仕事の安全・安心の概念を創るにはどうすれば良いかを、今後とも摸索して行く必要があると思っております。

本日ご報告する決算及び予算案については、当協議会が取り組む事業が継続的であることをご認識いただきまして、ご検討いただきたいと思っております。また、表彰を受けられる皆様方には、長年に亘ってお支えいただき感謝申し上げますと併し、どうぞ無事故を継続し、後進への指導もよろしくお願い申し上げます。

最後に総会のスムーズな進行をお願いいたしまして挨拶いたします。

## 式典祝辞（要旨）

高圧ガス保安協会  
会長 作田 穎治



ご紹介いただきました、高圧ガス保安協会会長の作田でございます。

本日は神奈川県高圧ガス防災協議会の40周年の節目を迎えたということでございます。多年に亘りまして運搬中の高圧ガスの防災に努めてこられた小谷会長をはじめ、関係者の皆様に対しまして心からお慶びとお祝いを申し上げます。

また、私も高圧ガス保安協会も当神奈川県防災協議会の皆様には日頃から大変お世話になっております。高圧ガスの事故の防止に色々努められるほか、私どもが実行しております移動監視者講習につきましても皆様色々ご協力を頂いております、この場をお借りいたしまして改めて御礼申し上げます。

先ほど小谷会長からもご照会ございましたけれど、当防災協議会は昭和47年5月に設立され翌年には民法に基づく社団法人になられ以降現在に至っておると伺っておりますが、あの当時 実は全国に防災協議会が多数つくられました。その背景には昭和40年兵庫県の西宮でLPGのローリーの大爆発事故がございました。LPGを満載したタンクローリーが橋脚に激突し、その結果大量のLPGが漏れ、これに何らかの原因で火が付き大火災になりました、この事故では死亡者が5名、重軽傷者が26名、焼失した家屋が31戸という大惨事になったわけでございます。これを契機といたしまして高圧ガスの移動、運搬に対して規制が強化されました。

昭和46年には高圧ガスの運搬に関しましては、移動計画書を

各地方通産局に提出するという義務付けが行われました。また移動距離が200キロメートルを越える場合には、運転手2名の複数を用意するといった規制も導入されました。

その後、何回かの規制強化の改正がおこなわれ、永い間が経ちましたが平成8年に時代は変わりまして規制強化からむしろ規制緩和の流れが主流となり、移動計画書の提出は廃止されましていわゆるイエローカードの携帯が実施されるようになったわけです。

この間、当神奈川県防災協議会におかれましては、他の県に率先して先進的に移動中の防災事故防止に大変努力をされました。例えばその中の事故が発災した時に応援隊が駆けつけますが、その人達の危険をカバーするような新しい損害保険制度を導入するといった試みもなされております。それから私の知るところでは、社団法人という法人格をもっている防災協議会は恐らく他県には無く神奈川が唯一の例かと思っております。そう言った意味で、皆様方が移動中の事故防止に対して大変な意気込みで取り組まれていると思っております。

神奈川県は、高圧ガスの事故防止にはなかなか難しい時期だったといえます。京浜工業地帯という大工業地帯を抱えておりますので、取扱う高圧ガスは多種多様で膨大な量でありあります。また、横浜、川崎といった大港湾が控えておりますので、事故防止には大変なご苦労があったかと思っております。小谷会長をはじめ歴代の会長あるいは、役員、関係者の皆様方に対しまして心から敬意を表するものでございます。

一口に40年と申ししましてもなかなかの期間で、一世代を超えるような機関でございますし、一つの歴史を形成し得る期間でもあります。皆様にはこの40年の成果或いは歴史を踏まえて、これから新たな出発点として今後とも高圧ガスの事故防止に、いま一段のご尽力を心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、当神奈川県高圧ガス防災協議会の今後の益々の発展を、

ご参集の皆様方の益々のご活躍を心からお祈りいたしまして、私の挨拶に替えさせていただきます。



創立  
40周年  
記念式典

# 祝賀会に集う 防災協の雄



杉岡氏



森川氏



小谷会長



河原氏



鳥飼氏

## 創立40周年記念式典・祝賀 社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会



小谷会長と高圧ガス保安協会作田会長



小谷会長による挨拶で式典が開始される



作田 高圧ガス協会会長よりお祝いの祝辞を頂く



作田 高圧ガス保安協会会長のご祝辞を拝聴する、来賓者の方々と保安功労者の皆様

### <保安功労者表彰式受賞者>

石黒氏、甲斐氏、菊地(津)氏、菊地(正)氏、梶野氏、佐藤氏、鈴木氏、野口氏、原氏、上原氏、菊地(均)氏



ご苦労様でした



ありがとうございます御座いました



# (おかげさまで40周年、時代とともに歩み続けます！)



杉岡 副会長による乾杯のご発声



来賓の皆様と乾杯！



それぞれに、お疲れ様でした。



平岡宗利、谷本正巳、吉野善雄、谷本善次、川崎啓孝、松岡健一



藪内氏、優良運送員梶原氏、佐藤氏、若林氏



次は任せた！竹内前副会長：談



ご来賓の皆さん有難うございました。



布施理事による中締め音頭



お疲れ様でした。



防災協の益々の発展を祈願し、会員の皆様と関東一本締め



## 就任ごあいさつ

神奈川県防災局

局長 蛭名 喜代作



本年4月に安全防災局長に就任いたしました蛭名でございます。

社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会におかれましては、本年で設立40周年の節目を迎えられました。全国有数の高圧ガスの流通がある本県において、移動途中の大きな事故が発生していないのは、皆様の保安意識の高さと結束力の強さ、そして、たゆまぬご努力によるものであり、深く敬意を表するとともに、この場をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

昨年3月に発生した東日本大震災から1年以上が経過しました。この大震災では、地震や津波に加えて、福島第一原子力発電所の原発事故が重なったことにより、まさに未曾有の災害となりました。被災地において、皆様の業界、お仲間の中にも、いまなお大変なご苦勞をされている方がいらっしゃると思います。改めてお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りします。

本県においても、県内最大震度5強、横浜では155cmの津波を観測し、死者4名、重軽傷者134名、住家の半壊39棟、一部損壊454棟の被害が発生しました。また、帰宅困難者は67万人強にも上ったと考えられ、県が把握

している範囲でも、約3万人を超える人々が、一時的な避難場所として公共施設等を利用されました。さらに、この地震に伴う生活物資の不足や計画停電などにより、県民生活が大きく混乱したことは記憶に新しいところで

す。本県では、この経験を踏まえ、地震災害対策の全面的な見直しを行い、本年4月25日に「地域防災計画（地震災害対策計画）」と「石油コンビナート等防災計画」の修正を行いました。特に津波対策については、新たに作成した津波浸水予測図に基づき、この2つの計画において大幅な充実強化を図りました。また、帰宅困難者対策などもより具体的な施策を盛り込みました。

今後の地震災害対策では、行政の「公助」だけでなく、県民や事業者の皆様の「自助」あるいは地域や団体などの「共助」の取組が一層求められるところです。災害時の混乱の中でも、高圧ガスの安全な移動を確保することは、ライフラインの復旧のためにも不可欠であり、貴協議会の皆様が期待される役割は、非常に大きいものがございます。引き続き、事故の無い神奈川に向けご支援、ご協力をお願いいたします。

今後とも、全国の協議会のリーダーとして、一層充実した活動を展開されることをご期待申し上げます。

最後に、神奈川県高圧ガス防災協議会及び会員事業所の皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

神奈川県防災局

危機管理部工業保安課

課長 加藤 洋



本年4月に工業保安課長に就任いたしました加藤でございます。

工業保安課は、私が県に採用されたとき、最初に配属された職場であり、大変愛着があります。同時に、県民の皆様の生命や財産を守る重要な仕事であり、これまでご指導くださった諸先輩方のご苦勞を思い出し、重責を感じております。皆様のご協力をいただきながら、努力してまいりますので、前任の松本同様によくお願いいたします。

社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の皆様方におかれましては、日ごろ高圧ガスの輸送途上での災害防止をはじめ、幅広く高圧ガス保安に大変ご尽力をいただいております。この場をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

本県は全国第2位の人口を抱え、臨海部には全国有数の石油コンビナートが立地しています。また、首都高速道路、東名高速道路など主要幹線が張り巡らされ、内陸部においても各種産業が立地しています。こうした地域において、移動途中の高圧ガスの事故は絶対あってはならないことですが、同時に、難しい交通事情の中、産業や生活の血液ともいべき高圧ガスを安全に運ぶということは、細かな配慮が求められる大変な仕事です。

貴協議会は昭和47年（1972年）5月に設立され、今年は40周年の節目の年を迎えられました。その間、「高圧

ガス運送基準指導講習」「高圧ガスバラ積容器運送車点検指導」「防災事業所緊急出動訓練」の実施など、高圧ガス移動時の安全確保、事故発生時の即応体制の整備に努めてこられました。その活動水準の高さは全国的にもトップレベルであり、今年度中に予定されている公益社団法人への移行を経て始まる新しい歴史に心から期待を寄せています。

さて、昨年は東日本大震災が発生し、会員事業所の中にも、支店や関連会社等で大きな被害を受けたところもあると聞いております。被害を受けた関係者の方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本県では、この震災を受け、地震災害対策の全面的な検証・見直しを行ってまいりましたが、事業所や市町村の皆様からのご意見等を踏まえ、本年4月25日に「地域防災計画（地震災害対策計画）」と「石油コンビナート等防災計画」の修正を行ったところです。特に津波対策については、この2つの計画でも充実強化を図りました。

近い将来想定される地震災害に備えるとともに、高圧ガスによる事故を減らすためには、日ごろの点検、管理が大切ですが、万一の場合には、被害を最小限に抑えるよう、迅速かつ適切な対応が求められます。そのために、これまで貴協議会の皆様にもご参加いただいている「高圧ガス地震防災緊急措置訓練」を、今年度は、10月24日に横須賀市の久里浜港において実施する予定です。引き続きご協力をお願いいたします。

最後に、貴協議会の益々のご発展並びに会員の皆様方のご発展、ご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



**神奈川県安全防災局危機管理部工業保安課 関係担当部署 職員一覧** (平成24年4月1日付け)

部署・職位	氏名	前職
神奈川県 安全防災局長	嵯名喜代作	足柄上地域 県政総合センター所長
副局長 兼管理部長	佐藤 清	異動なし
参事(訓練指導)	尾崎 裕	異動なし
危機管理対策課長	杉原 英和	温泉地学研究所次長
災害対策課長	金井 信高	保健福祉局保険医療部 健康危機管理課長
応急対策担当課長	山口 達夫	県警本部警備部
消防課長	堀江 信夫	異動なし

**【工業保安課】**

045-210-3470 (課長) FAX045-210-8830

工業保安課長	加藤 洋	湘南地域県政 総合センター環境部長
--------	------	----------------------

**・火薬電気グループ  
045-210-3475**

グループリーダー	五本木顕良	異動なし
副主幹	鈴木 徹	環境農政局水・緑部水質課
主査	福井 千穂	異動なし
主任主事	若松 肇	異動なし
主任専門員	狩山 廣子	異動なし
専門員	鶴牧 一雄	異動なし
非常勤	入江 祐子	異動なし

**・コンビナートグループ  
045-210-3479**

グループリーダー	人見 孝	異動なし
副技幹	鈴木 一彦	県央地域県政総合センター 環境部環境保全課副技幹
主任主事	山之内美香	政策局川崎事務所納税課
技師	柴谷 純人	異動なし
技師	枝浪 圭介	西湘地域県政総合センター 環境部環境課技師
専門員	山口 良則	異動なし

**・高圧ガスグループ  
045-212-3484、3489**

グループリーダー	田中 晃	環境農政局環境保全部
副技幹	森田 康裕	異動なし

部署・職位	氏名	前職
主査	保坂 由文	異動なし
主査	中尾 亜古	環境農政局農政部
主事	広川 祐嗣	総務局統計センター主事
技師	岡田紗絵子	異動なし
技師	清野 浩史	異動なし
主任専門員	椎橋 文雄	異動なし

**・横須賀三浦地域県政総合センター**

046-823-0210 FAX046-824-2459

所長	茂木 吉晴	異動なし
環境部長	穂積 克宏	西湘地域県政総合センター
環境課長	荻野 浩	異動なし
主事	森 史郎	異動なし
専門員	武城 修一	異動なし
非常勤	谷中 浩志	異動なし

**・県央地域県政総合センター**

046-224-1111 FAX046-225-5218

所長	納谷 次弘	政策局参事監
環境部長	関 猛彦	県央地域県政総合センター
環境保全課長	鷺山 享志	異動なし
主査	佐藤 協一	異動なし
主査	椎谷 和雄	教育局学校事務センター
主査	加藤 文雄	異動なし
技師	中山 駿一	新規採用
専門員	白井 秀章	異動なし

**・湘南地域県政総合センター**

0463-22-2711 FAX0463-24-3608

所長	山田 直子	知事室長
環境部長	大津 岩雄	足柄上地域県政総合センター
環境保全課長	岡村 和雄	環境科学センター環境情報部
主査	堀部 英基	異動なし
主事	矢野 和敬	異動なし
専門員	長谷 俊夫	異動なし
非常勤事務嘱託	内藤 慶司	異動なし

**・県西地域県政総合センター**

0463-32-8000 FAX0465-32-8111

所長	鈴木 順	西湘地域県政総合センター
環境部長	佐藤 治郎	足柄上地域県政総合センター
環境保全課長	西田 積	工業保安課高圧ガスグループ
技師	中山美智枝	環境農政局環境保全部
専門員	浜村 哲夫	足柄上地域県政総合センター

**平成23年度防災事業所ミニ防災訓練  
・緊急出動訓練実施報告**

年度内事業の締めくくりとも言える、ミニ防災訓練・緊急出動訓練が2月15日の川崎地区を皮切りに県内6地区で実施されました。厳寒の折 実施事業の皆さん訓練お疲れ様でした。

各地域の訓練実施防災事業所は以下のとおり。

- 〔川崎地区〕 平成23年2月15日 東横化学(株)、(株)アキヤマ
- 〔県央地区〕 平成23年2月17日 三ツ輪産業(株)相模原営業所
- 〔県西地区〕 平成23年2月22日 相原興業(株)
- 〔湘南地区〕 平成23年2月22日 合同 (株)巴商会伊勢原営業所  
(株)湘南ガスセンター、東邦チタニウム(株)、高圧ガス工業(株)
- 〔横浜地区〕 平成23年2月23日 東京ガスLPGターミナル(株)根岸出荷センター
- 〔横須賀三浦地区〕 平成23年3月15日 (株)サガミ

**《ミニ防災訓練風景》**





**新任 役員・理事・監事の紹介** ※第39回通常総会第3号議案において承認いただいたものです。

会 長	小谷 一雄	極東運輸(株)	理 事	小野洋一郎	(株)エネックス関東LNG支店
副 会 長	河原 俊治	新相模酸素(株)	理 事	鳥飼 隆昭	JX日鉱日石エネルギー(株)根岸製油所
副 会 長	森川 清二	丸一輸送興業(株)	理 事	郷原洋一郎	日酸運輸(株)
副 会 長	仲舛 盛吉	昭和電工(株)川崎事業所	理 事	平田 克己	東横化学(株)
副 会 長	古川 武法	(公社) 神奈川県LPガス協会	理 事	若林 満	横浜ケミカル(株)
副 会 長	杉岡 孝雄	高圧ガス工業(株)	理 事	桔梗 芳一	(株)ガスネット
専務理事	石川 哲也	(社) 神奈川県高圧ガス防災協議会	理 事	佐波 充	(株)サナミ商会
理 事	上野 英雄	東京産業(株)	理 事	宇佐美雅彦	神奈川県LPガススタンド協議会
理 事	河西 哲男	(株)渡 商会	理 事	高橋 宏昌	(公社) 神奈川県LPガス協会
理 事	上梅澤和昭	帝国商運(株)	理 事	布施 重男	中央運輸(株)
理 事	小山 達夫	楠原輸送(株)	理 事	石関 貞男	ジャパンファインプロダクツ(株)
理 事	星野 幹雄	鶴見曹達(株)			
理 事	田島 秀一	JX日鉱日石エネルギー(株)川崎製造所	監 事	荻内 静夫	(株)渡 商会
理 事	広瀬 清則	東燃ゼネラル石油(株)川崎工場	監 事	柄澤 直樹	大陽日酸(株)関東支社
理 事	戸塚 隆之	ビューテックローリ(株)川崎営業所			

**お知らせ**

**1 事務所が移転します。**

10年近く慣れ親しんだ神奈川県警本部ビル前に位置する第2吉本ビルは、昨年の東日本大震災において震度5強の揺れに見舞われた際、耐震強度の無いことが判明し本年中に他ビルへの転出を迫られ、6月17日(日)をもって本ビルから転出することになりました。

6月18日(月)からは新事務所において日常業務を行います。電話番号等は変更ありません。

〔新住所〕 〒231-0003  
 横浜市中区北仲通4丁目40番地  
 (工商中金横浜ビル)

**2 県・警察・消防・防災事業所  
 連絡会議日程**

下記日程で標記連絡会議を開催しますので、各地区の防災(準)事業所担当責任者はスケジュールを調整の上、必ずご出席ください。

- 〔川崎地区〕 6月21日(木) 午後2時から  
 川崎県税事務所 3階大会議室
- 〔湘南地区〕 6月29日(金) 午後2時から  
 平塚市民センター 3階小会議室
- 〔横須賀三浦地区〕 7月3日(火) 午後2時から  
 横須賀市文化会館 2階第2会議室
- 〔横浜地区〕 7月11日(水) 午後2時から  
 かながわ県民活動サポートセンター
- 〔県西地区〕 7月19日(木) 午後2時から  
 小田原市民会館 5階第1会議室
- 〔県央地区〕 7月26日(木) 午後2時から  
 相模原市民会館 3階第1中会議室

**3 防災事業所取扱い講習会日程**

**(1) 高圧ガス移動監視者講習**

- 3/4回 講習会実施日 平成24年11月14日、15日  
 検定日 平成24年11月30日
- 4/4回 講習会実施日 平成25年1月31日、2月1日  
 検定日 平成25年2月14日

※会場はどちらも川崎のサンワークかながわです。  
 ※4/4回は会場の都合で実施日が未確定です。

**(2) 高圧ガス運送基準指導講習会**

- 第1回 7月13日(金) 厚木市文化会館
- 第2回 8月2日(木) 横須賀市文化会館
- 第3回 8月29日(水) 神奈川県公会堂
- 第4回 9月25日(火) 小田原市生涯学習センター
- 第5回 10月11日(木) サンワークかながわ
- 第6回 10月30日(火) 茅ヶ崎市民文化会館
- 第7回 11月28日(水) 鶴見公会堂

**(3) 高圧ガス運送指導員資格取得更新講習(指導員)**

- 第1回 7月13日(金) 厚木市文化会館
- 第2回 8月2日(木) 横須賀市文化会館
- 第3回 8月29日(水) 神奈川県公会堂
- 第6回 10月30日(火) 茅ヶ崎市民文化会館
- 第7回 11月28日(水) 鶴見公会堂

**お 願 い !**

去る5月17日に第39回通常総会が終了したばかりですが、ご承知のとおり事務所移転により住所が変更(番地)となりますので定款変更が伴います。定款の変更については、総会承認事項でもありますので、臨時総会を開催することと致しますので、送付いたしました出欠席票、委任状についてのお取計い宜しくお願いいたします。